

<進捗管理シート>

第3期 大河原町まち・ひと・しごと創生総合戦略の令和7年度実施内容及び令和8年度実施予定
< 基本目標1 : おおらかでたくましいひとづくり～まちを未来へとつなぐ～ >

基本的な方向性：次代を担う人材育成と社会的包摂の実現

先人のおおらかな先進の志に学びながら、たくましくまちを未来へつなげるために、さまざまなまちの主役（ひと）づくりを目指します。

（事業費は R7 が実績額、R8 が予算額：千円）

総合戦略の施策とその方向	令和7年度実施内容・令和8年度実施予定	事業費	担当課
施策(1)：地域を担うひとの支援とコミュニティ活動の向上 方向 ① 地域の活動支援として、各行政区に協働のまちづくり事業交付金を交付するとともに、地域課題の対応を促進し、次代の担い手や地域力の進展に寄与する。 ② 集会所等は、老朽度を見ながら長寿命化を図り、適正な管理維持を進め、また利用者負担の見直し等、住民が利用しやすい施設の在り方を検討する。 ③ 集会所の大規模改修や整備については、公共施設等総合管理計画を基本としながら、施設の老朽度や利用状況、人口動態などを踏まえ、複数で活用する施設整備も含め、計画的に取り組む。	① 自治組織活動（行政区活動）の推進 【令和7年度】 地域の活動支援として、各行政区に協働のまちづくり交付金を交付し、地域課題の対応の促進を行った。また、交付金は様々な行政区活動を活性化させ、担い手不足や地域コミュニティの形成促進を図った。 【令和8年度】 協働のまちづくり事業交付金をとおして、自治会組織の円滑な運営や継続的な活動を促進し、担い手づくりや地域力の向上につなげる。 また、地区活動の担い手不足、アパート等の単身者の増などにより、地域コミュニティの形成が希薄化していることから、良好なコミュニティ形成が図れるよう推進していく。 【目標指標】 コミュニティの活性化に対する満足度（住民満足度調査） R7 3.2 ⇒ R11 3.5	R7年度 17,363 R8年度 18,300	総務課
	② 集会所等の維持管理と活用の推進 【令和7年度】 照明器具のLED化や畳の張替えなどを実施し利用しやすい環境づくりに努めた。また、おおがわら広報で「身近で利用しやすい施設」として周知を行い利用促進を図った。（前年比：2,700人増） 【令和8年度】 個別施設計画に基づく老朽化診断を実施し、不具合の早期発見・修繕による施設の安全確保と長寿命化に努める。また、引き続き照明器具LED化など利用しやすい施設づくりに取り組んでいく。	R7年度 9,512 R8年度 11,843	政策企画課

	【目標指標】集会所の利用人数 R7 25,696 人 ⇒ R11 48,500 人以上		
	③ 地域コミュニティ施設づくりの推進 【令和7年度】 公共施設等総合管理計画に基づく更新・集約化の検討を進めるため、過去10年分の利用状況や人口動向などの調査を実施した。また、老朽化が著しい東部集会所については、関係行政区との協議の場を設け、近隣施設との集約・再設置の検討、建替え整備方針（案）の説明を行った。 【令和8年度】 老朽化が著しい東部集会所及び上谷集会所の整備方針について、近接する施設との統廃合を踏まえ、設計及び工事に関する整備手法の検討を行う。また、他の集会所についても、公共施設等総合管理計画に基づき、人口動態や使用頻度、老朽化の状況を把握し更新や集約化の検討を進めていく。 【目標管理】コミュニティ施設の整備 R7 0カ所 ⇒ R11 2カ所	R7年度 0 R8年度 0	
施策(2)：こどもまんなか社会対応の体制整備、学校施設の大規模改修等、子育て・教育施設の充実 方向 ① 子育て世帯の経済的負担の軽減を図りながら、児童健全育成として「こども誰でも通園制度」を新設するなど、子育てしやすい環境づくりを目指す。 ② こども家庭センターが中心になり、子育てに関する相談支援体制を整えるとともに、支援の必要な子供の居場所づくりの検討、児童虐待の予防・課題の対応をする体制整備を強化す	① 児童健全育成及び子育て支援 【令和7年度】 ・子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、18歳未満の子ども医療費を所得制限なしで助成した。 ・子育てしやすい環境づくりのため、年度途中の保育所等への入所に対応できるよう、保育所の定員数の維持のために必要な保育士雇用のための助成を行った。 【令和8年度】 ・子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、継続して18歳未満の子ども医療費を所得制限なしで助成する。 ・すべての子どもの育ちを応援し、子どもの良質な成育環境を整備するとともに、すべての子育て家庭に対し支援を強化するため、令和8年4月より新設した「こども誰でも通園制度」の利用を促す。 【目標管理】こども誰でも通園制度 R7 着手 ⇒ R11 実施（R8年度）	R7年度 児童福祉 104,817 子育て支援 5,581 R8年度 児童福祉 121,800 子育て支援 1,020	子ども家庭課

る。 ③ 学校施設の老朽、耐力度の状況を踏まえ、改修計画の優先順位を考慮しながら、より良い教育環境づくり進め、学校施設の公共施設との複合化、地域防災拠点とする機能を検討する。	② こども家庭センターの運営（整備） 【令和7年度】 ・児童福祉と母子保健が一体的に取り組むことで、児童虐待に関する相談や虐待防止の推進を図った。 ・面談や訪問、乳幼児健康診査等のあらゆる機会を捉え、個別性に応じた伴走的支援や情報提供を行った。 【令和8年度】 ・児童福祉と母子保健が一体的に取り組み、児童虐待の未然防止や切れ目のない支援を行う。 ・面談や訪問、乳幼児健康診査等を通して、健康的な生活習慣を確立し安心して子育てできるよう情報提供や啓発を行う。 【目標管理】こども家庭センター相談対応件数 R7 総件数 725 件⇒ R11 総件数 720 件	R7年度 児童福祉 496 母子保健 3,254 R8年度 児童福祉 726 母子保健 6,213	子ども家庭課
	③ 学校施設の長寿命化・改築の推進 【令和7年度】 大河原南小学校1号校舎外壁・屋上防水ほか改修事業 老朽化した大河原南小学校の1号校舎について、外壁と屋上防水の改修工事を実施した。 【令和8年度】 大河原南小学校2号校舎・屋内運動場外壁等改修工事 老朽化した大河原南小学校の2号校舎・屋内運動場の改修工事を実施する。 【目標管理】大河原南小学校（校舎・屋内運動場）R7 着手 ⇒ R11 改修済	R7年度 157,542 R8年度 242,000	教育総務課
施策(3):高齢者や障がい者の社会参加機会の拡大とサポーター育成・支援 方向 ① 高齢者の社会参加を促進するため、高齢世帯のみで孤立しないよう社会に参画できる支援を図ると	① 高齢者の社会参加の推進 【令和7年度】 高齢者の社会参加を促進するため、老人クラブ活動への補助金等支援を行ったほか、スポーツカフェ等の通いの場の提供や介護予防サポーター養成講座の開催及び活動支援を実施した。 【令和8年度】 前年度同様に、介護予防に取り組める通いの場の充実と、高齢者の社会参加の活動支援を	R7年度 1,509 R8年度	福祉課

もに、スポーツカフェ等の通いの場の提供、介護予防サポーター養成講座の実施や老人クラブ活動等を支援し、地域や住民相互のつながりを強化する。	施していく。 【目標管理】介護予防サポーター講座修了者(現任) R7 85 人 ⇒ R11 124 人以上 【目標管理】スポーツカフェの参加延人数 R7 1,528 人 ⇒ R11 1,500 人以上	1,792	
② 障がい者(児)の社会参加促進のため、居場所づくりや相談支援体制強化、地域活動支援センター利用者の就労関係福祉サービスへの移行等を推進する。専門知識を有する社会福祉法人へ業務委託を行い、障がい者(児)の生活・就労・不安解消・障害福祉サービス利用等の就労関係福祉サービスへの移行等を推進する。 ③ 介護を必要とする世帯全体の把握をし、介護、家族介護者支援の充実を図ります。介護者への介護技術の習得や情報発信を行うとともに、介護者の健康管理や交流会参加による心身のリフレッシュを進める。	② 障がい者の社会参加の機会確保 【令和7年度】 大河原町地域活動支援センター 福祉作業所さくらの運営を継続して行っている。町内の地域企業からの請負作業の実施に伴う生産的活動の機会の場の提供や、手芸や工作等の創作的活動、地域活動や関係団体等との交流も図り、障がい者の日中の居場所づくりや社会交流の場としての役割を果たしている。 仙南2市7町共同で専門的知識を有している社会福祉法人へ相談支援業務を委託しており、令和7年度の主要な相談としては「不安の解消」、「障害福祉サービス利用」、「就労に関する相談」が上位を占めており、障がい者(児)の自立に向けた支援に寄与している。 【令和8年度】 前年度と同様に地域活動支援センター・相談支援事業業務委託を継続し、障がい者(児)が社会参加促進に向けて支援を行う。 【目標管理】地域活動支援センター利用者数 R7 9 人 ⇒ R11 15 人 【目標管理】相談支援件数(延人数) R7 1,115 人 ⇒ R11 4,000 人以上	R7年度 18,689 R8年度 19,488	福祉課
	③ 介護者への支援の充実 【令和7年度】 「簡単！時短調理で健康維持」と題して家族介護教室2回実施、地域課題として男性介護者の地域孤立が上げられていたことから1回目を男性介護者限定で開催、2回目を町内で介護に関心がある方対象に開催。教室内では消費生活相談員からの詐欺と消費者被害のミニ講話を受けた。 【令和8年度】 男性介護者やビジネスケアラーが仕事と介護が両立し、在宅介護が継続できるよう、健康管理方法や介護技術の習得等の住民の要望に沿った教室内容を予定している。 【目標管理】介護教室の実施 R7 2 回 ⇒ R11 3 回	R7年度 86 R8年度 96	福祉課

施策(4)：起業・創業支援とまちづくり人材の発掘と活用 方向 ① 国の補助金を活用し、認定農業者の経営支援を行うとともに、認定新規就農者を志向する就農希望者に情報提供や就農計画作成指導等を支援し、伴走的に人材育成を進める。	① 新規就農者・担い手育成の推進 【令和7年度】 認定新規就農者へ経営開始資金を交付し、現在だけでなく将来的に稼げる営農になるよう支援した。認定農業者がいない地域にあっては、地域の農地の担い手育成のため、地域営農検討会を開催し、課題の解決に向けた取組みや、集落営農組織化を支援する。 【令和8年度】 前年度と同様に稼げる農業になるよう支援するとともに、認定農業者がいない地域にあっては、地域営農検討会を実施する等、地域の担い手育成に努める。 【目標管理】新規就農者数 R7 6人 ⇒ R11 8人以上	R7年度 1,524 R8年度 9,300	農政課
② 「にぎわいプラザ」を起業・創業支援の拠点とし、商工会や地元金融機関等の関連機関と協力体制をつくることで、起業・創業の支援窓口の設置や創業支援セミナーを継続し、新規企業、創業等を促進し、商店街の活性化につなげる。 ③ 住民の意欲を発揮し、地域の活性化につながる環境づくりを目指し、住民団体の育成に力を入れ、活動経費に補助し、まちづくり人材の発掘と活用を図る。	② 起業・創業支援、既存商店街の持続 【令和7年度】 商工会や地元金融機関等の関係機関と協力を密にし、起業・創業者に対する支援窓口設置や創業支援セミナーの開催等により、新規創業等の促進を図った。また、商工会に対し経営相談に対する事業補助行い個別支援を行った。 【令和8年度】 商工会や地元金融機関等の関係機関と協力を密にし、起業・創業者に対する支援窓口設置や創業支援セミナーの開催等により、新規創業等の促進を図る。また、商工会に対し経営相談に対する事業補助行い個別支援を図る。 【目標管理】起業・創業支援につなげた総件数 R7 4件 ⇒ R11 9件以上	R7年度 7,000 R8年度 7,000	商工観光課
	③ 住民活動の支援・育成 【令和7年度】 住民活動団体の自主的な活動を支援し、住民参加による元気なまちづくりの推進を図るため、「元気なまちづくり活動支援補助金」を1団体に交付した。実施団体は今後も継続して実施することを検討しており住民団体の育成、地域住民の交流につながった。 【令和8年度】 令和7年度末に「元気なまちづくり活動支援補助金」交付要綱を見直し、より住民団体が申請、活用し易い内容へと改正、より一層のまちづくり人材の発掘、活用を図り、地域の活性化につなげる。 【目標管理】住民活動支援団体数 R7 1団体/年 ⇒ R11 3団体/年	R7年度 100 R8年度 200	政策企画課

施策(5)：「志教育」の推進、県内上位の学力維持・向上 方向 ① 情報化社会及び国際理解に対応できる人材育成を進めるとともに、不登校対応、未然防止等に努め、発達障がい等特別な支援を要する児童生徒へきめ細やかな対応を進めていく。「主体的・対話的で深い学び」による授業改善により、自己実現、共同認識、思考力育成が身につけられるよう推進する。	① 教育環境向上の推進 【令和7年度】 外国語学習の充実のため、3名の外国語指導助手の派遣を実施した。また、小学校高学年～中学校児童生徒を対象に英語ガイドの教室を実施し、桜まつり会場で15名の児童生徒が英語ガイドとして外国人観光客へのおもてなしを行った。夏休み期間中にALTによる英語学習会イベント「イングリッシュデイ」を日帰りで行い、17名の児童が参加した。 【令和8年度】 外国語指導助手の派遣を3名から4名に増員を行い、中学校のALTの授業参加率を増加させていく計画である。英語ガイド育成や英語学習イベントも例年通り実施していく。 【目標管理】 不登校傾向の児童生徒のうち、タブレット活用による授業参加者割合 R7 6% ⇒ R11 60%以上	R7年度 13,860 R8年度 18,480	教育総務課
② 校内研修の充実と実践的研究の推進、学力向上の体制づくりを促進し、全国学力・学習状況調査の結果分析による能力育成、学習評価を生かした指導と評価の一体化を図る指導実践の推進のもと、算数チャレンジ・数学オリンピック事業等による「思考力・判断力・表現力を育成する。仙台大学と連携を継続し、児童の体力・運動能力を保持、向上させる取り組みを進める。	② 学力・体力向上の推進 【令和7年度】 体力の向上に向け仙台大学と連携し、児童の体力向上に努めた。また、学力の向上に向け算数チャレンジ・数学オリンピック事業の継続や他教科への取組拡充を行った。 【令和8年度】 体力の向上に向け仙台大学と連携し、児童の体力向上に努める。また、学力の向上に向け算数チャレンジ・数学オリンピック事業の継続や他教科への取組拡充を行っていく。 【目標管理】 全国学力・学習状況調査で全国平均以上（正解率との乖離をプラスにする） 小学校 R7 国語 +1.2ポイント・算数 +4.0ポイント ⇒ R11 全国平均以上 中学校 R7 国語 -3.3ポイント・数学 -8.3ポイント ⇒ R11 全国平均以上	R7年度 1,638 R8年度 1,642	教育総務課
③ 児童生徒に夢や志を抱かせ、ふるさと大河原を愛する心を醸成するほか自己有用感、自己肯定感をもたせ、人間としての成長、発達を目指す「志教育」を継続する。	③ 生きる力を育む志教育の振興 【令和7年度】 児童生徒に人間としての成長、発達を目指す「志教育」を継続していく。 中学生対象の「志教育講演会」の継続実施のほか、想像力や思考力、読解力等を育む読書教育、心の教育の充実、国際化・情報化社会に対応できる人材育成を行った。	R7年度 68	教育総務課

想像力や思考力、読解力等を育む読書教育、全学級道徳授業の日を設定し心の教育の充実、国際化・情報化社会に対応できる人材育成を進める。	【令和８年度】 児童生徒に人間としての成長、発達を目指す「志教育」を継続していく。 中学生対象の「志教育講演会」の継続実施のほか、想像力や思考力、読解力等を育む読書教育、心の教育の充実、国際化・情報化社会に対応できる人材育成を行っていく。 【目標管理】「将来の夢や目標を持っていますか」の設問に回答した割合 小学校 R7 84.2% ⇒ R11 80.0%以上 中学校 R7 73.0% ⇒ R11 50.0%以上	R 8 年度 50	
施策(6)：生涯にわたり、学び続けられる環境づくりの推進 方向 ① 学校支援ボランティアの活動を広げるとともに、新たなボランティア登録者を募る。また、安心して家庭教育を行うことができるよう、親の学びを支援する子育て親育ち講座等を開催する。 ② 社会教育の拠点である中央公民館、金ヶ瀬公民館、駅前図書館を中心に、地域課題に沿った事業を推進し、また幅広い世代のニーズに合った事業を展開し、生涯にわたり学び続けられる環境をつくる。	① 地域学校協働活動の推進 【令和７年度】 学校側のボランティアの要請にスムーズに応えるため、ボランティア登録者へ活動継続の意思確認を行い、登録名簿の整備を行った。 【令和８年度】 ボランティア登録者数の増加のための周知と併せて、ボランティア活動がより活発になるよう学校側のニーズの把握に努める。 【目標管理】学校支援ボランティア登録数 R7 43 人 ⇒ R11 80 人以上 活動日数（延べ） R7 114 日 ⇒ R11 170 日以上	R 7 年度 134 R 8 年度 295	生涯学習課
	② 生涯学習・社会教育事業の推進 【令和７年度】 中央公民館：コロナ禍からの利用者数の回復は未だ途上であるが、利用状況を以前の水準に近づけるため、幅広い世代のニーズに対応した主催講座を開催するとともに、主な利用者である文化協会の活動支援を行った。 【令和８年度】 中央公民館：引き続き利用者数の回復に向けて、世代を問わず参加しやすい講座の企画・実施に取り組むとともに、主要な利用団体である文化協会の活動を継続的に支援する。また、利用者の利便性向上及び事務の効率化のため、主催講座等のオンライン申請を推進していく。	R 7 年度 717 R 8 年度 944	中央公民館 金ヶ瀬公民館 駅前図書館

	【目標管理】社会教育施設の利用人数 中央公民館 R7 23,640 人 ⇒ R11 35,000 人以上 金ヶ瀬公民館 R7 10,886 人 ⇒ R11 13,000 人以上 駅前図書館 R7 18,015 人 ⇒ R11 25,000 人以上		
--	---	--	--